

協働事業提案書

平成25年〇月〇日

(宛先) 小牧市長

団体の名称 〇〇〇〇〇の会
所在地 小牧市〇〇〇〇-XX
代表者 東海 太郎 印
連絡先 (0568)〇〇-〇〇〇〇

次のとおり、提案します。

なお、会員名簿・担当者連絡先を除く記載内容の公開を承諾します。

提案タイプ	市民提案型“ひらめき”
提案事業名	自然から学ぶ食を通じた子どもの心育て事業
事業の分野 又は 活動の分野	※提案する事業（主たるもの）の分野にチェックを入れてください。 <input type="checkbox"/> 保健・医療・福祉 <input type="checkbox"/> 社会教育 <input type="checkbox"/> まちづくり <input type="checkbox"/> 文化・芸術・スポーツ <input type="checkbox"/> 環境の保全 <input type="checkbox"/> 災害救援 <input type="checkbox"/> 地域安全 <input type="checkbox"/> 人権擁護・平和推進 <input type="checkbox"/> 国際協力 <input type="checkbox"/> 男女共同参画社会の形成 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの健全育成 <input type="checkbox"/> 情報化社会の進展 <input type="checkbox"/> 科学技術の振興 <input type="checkbox"/> 経済活動の活性化 <input type="checkbox"/> 職業能力の開発・雇用機会の拡充支援 <input type="checkbox"/> 消費者の保護 <input type="checkbox"/> 団体運営への支援 <input type="checkbox"/> その他
事業期間	平成26年〇〇月〇〇日から平成27年〇〇月〇〇日まで
事業予算	※収支予算書(様式第2)の合計額を転記してください。 615,760 円
事業概要 ※300字以内 (この欄の記載内容は、ホームページ等で公表します。)	※提案事業の概要を記載してください。 農作物の栽培や収穫体験を通じて、次世代を担う子ども達と「食べ物の大切さ」「自然の大切さ」を学ぶことにより、その農作物が育った大地・水・空気・季節や風土に対する興味を促し、自然との共生への関心や感謝のこころを育むことを目的とする。 一方で、上記事業を昨今管理上の問題が生じている耕作放棄地を利用することにより、行政が抱える問題に寄与する。 また、小牧市が策定した「小牧市食育推進計画」の推進につなげることを目的とする。
添付書類	■ 収支予算書(様式第2) ■ 団体概要書(様式第3)

<p>事業の目的</p>	<p>(「何のために」実施する事業なのか、解決したい課題を記載してください)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自然と触れ合う機会が少ない現代の子ども達が、「生きる」上で基本となる「食」に関する知識と、「食」を選択する力を習得し、健全な食生活ができる人間を育てること。 2. 地域の課題となっている耕作放棄地を活用させる。 3. 世代間交流を通して地域住民同士の連携を図り、昨今求められている地域力を向上させる。 4. 小牧市が策定している「小牧市食育推進計画」を推進させる。
<p>事業の効果</p>	<p>(事業によって「何が」どう良くなるのかを記載してください)</p> <ol style="list-style-type: none"> ①次世代を担う子供たちが「自然との共生」への関心や「感謝のこころ」を育むことができる。 ②世代間交流の機会が創出できる。 ③昨今問題となっている耕作放棄地の活用に繋がる。 ④「小牧市食育推進計画」を推進できる。
<p>事業の内容</p>	<p>(目的達成のために「何を」「どのように」(内容、実施方法等)実施するのかを具体的に記載してください)</p> <p>地域住民と連携して計7回の「緑と食の勉強会」を行なう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 参加者一般公募(20家族程度) ・ 農業体験者、地域の老人会の方等に講師を依頼 ・ 講師とは別に畑の管理等も含めてお手伝いしていただける「畑見守り隊」も一般募集(4名程度) ・ 栽培途中で「植物や食べ物の大切さ」「自然の大切さ」を説く食育講座の開催(2回)、収穫したものを使った調理実習(2回)や収穫祭を行なう。 ・ 終了後、参加者に体験レポートを提出してもらい、事業が子ども達に与えた成果をHP等に一般公開し、市民啓蒙を行う。 <p>「みどりと食の勉強会」</p> <ol style="list-style-type: none"> ①第1回 結団式・畑作り・野菜の種まき ②第2回 苗植え体験・食育講座 ③第3回 畑の草取り・食育講座 ④第4回 野菜の収穫・漬物作り・サラダ作り・収穫祭(すいか割等) ⑤第5回 大豆の収穫 ⑥第6回 収穫した大豆を使った味噌作り ⑦第7回 参加者による「体験レポート」発表会 解団式

<p>事業の対象</p>	<p>(「誰を」「どこを」対象として実施するのかを記載してください) 小牧市を中心とする地域住民・特に子どもを持つ家族を対象とする。</p>
<p>事業の実施場所</p>	<p>(「どこで」実施するのかを記載してください) 小牧市〇〇〇〇-×× 小牧市〇〇〇〇-△△ 地内の耕作放棄地</p>
<p>協働する意義 や必要性、相乗 効果など</p>	<p>意義や必要性 これまで市民活動団体として様々な食育活動を行ってきたが、市内全域の人に周知徹底することが難しく、多くの人に参加してもらうことが出来なかった。また、行政は今までと違ったアプローチで食育を行なうことにより、より小牧市食育推進計画を推進することができ、協働事業とすることで双方にメリットがあると考えられる。</p> <p>提案団体にとってのメリット 行政と協働し、小牧市の食育推進計画に基づく事業プランニングをすることにより、市民への信頼性を得ることができ、問題となっていた市内全域の人への周知を促すことができることで、より多くの人に参加してもらうことができる。よって、次世代への食育というビジョンをより現実近づけることができる。</p> <p>市にとってのメリット 市民活動団体のアイデアを用いることにより、今までと違うアプローチで小牧市食育計画を進めることができると同時に、行政の課題となっている耕作放棄地の問題に寄与することができる。</p> <p>想定される相乗効果 異世代間交流による地域力の向上</p>
<p>役割分担</p>	<p>(提案団体と市がそれぞれ「何を」果たすべきかを記載してください)</p> <p>提案団体が果たす役割</p> <p>①事業の企画・運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆行政・耕作放棄地の地権者との打合せ、事業詳細の決定。 ☆告知・広報 <ul style="list-style-type: none"> チラシの作成・配布 インターネット等を使った告知 ☆事業の遂行 <ul style="list-style-type: none"> 詳細事項の検討・決定(協働で行なう) 募集・申込受付 講師や見守りスタッフの手配 会場準備など その他開催に当たって必要な業務すべてと終了後の事務作業 <p>市が果たす役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ①名義の使用許可(名義の種類は打合せにて決定) ②耕作放棄地の選定と地権者への交渉 ③告知 チラシの市内公共施設への配布・設置など 広報への掲載

	<p>④詳細事項の検討（協働で行なう）</p> <p>⑤事業への参加</p> <p>⑥事業終了後の活動結果の公表・市民啓蒙活動（協働で行う）</p>		
事業スケジュール		具体的な取り組み	実施体制、対象者、場所等
	4～6月	<p>企画・打合せ</p> <p>広告作成・宣伝・募集</p> <p>開催準備</p> <p>第1回勉強会開催</p> <p>第2回勉強会開催</p>	<p>事業詳細の検討・決定</p> <p>広告作成・送付・募集・受付</p> <p>地権者との調整</p> <p>講師・見守スタッフの選定・打合</p> <p>結団式・畑作り・種まき</p> <p>野菜の苗植え・食育講座</p>
	7～9月	<p>第3回勉強会開催</p> <p>第4回勉強会開催</p> <p>畑の維持管理</p>	<p>畑の草取り・食育講座</p> <p>野菜の収穫・調理実習（サラダと漬物）・収穫祭</p>
	10～12月	<p>第5回勉強会開催</p> <p>第6回勉強会開催</p> <p>第7回勉強会開催</p>	<p>大豆の収穫</p> <p>調理実習（大豆を使った味噌作り）</p> <p>参加者による「体験レポート」発表会・解団式</p>
	1～3月	<p>報告書作成</p> <p>成果報告の公表</p>	
活動実績	<p>(1) 地域住民や他の団体（自治会、NPO等、各種団体、学校、企業など）と連携して取り組んだ活動（事業）等がありますか？</p> <p>⇒（ある・ない）</p> <p>（ある場合は、いつ、誰と、どのような連携を行った活動かお書きください）</p> <p>いつ：H20年8月0日</p> <p>誰と：特定非営利活動法人 こまき市民活動ネットワーク</p> <p>どのような連携：野菜の収穫体験を共催で行なった。</p> <p>(2) これまで行政と連携して取り組んだ活動（事業）等がありますか？</p> <p>⇒（ある・ない）</p> <p>（ある場合は、いつ、どのような連携を行った活動かお書きください）</p>		
その他	<p>別紙に以下を添付する。</p> <p>①予算書の明細と外部委託の見積もり</p> <p>②過去実績の資料</p>		
遵守事項	<p>事業の提案及び遂行にあたり、『まちを育む 市民と行政の協働ルールブック』を読んだ上で、定める事項を遵守することを誓約します。</p> <p>団体の名称 〇〇〇〇の会</p> <p>代表者 東海 太郎 印</p>		

※ 事業概要等で書き足りない場合は、別紙を用意してください。

※ 本書については、個人情報を除き、ホームページ等で公表しますので、なるべく電子データで作成してください。

※ 本書様式の模造は認めません。必ず本様式を使用してください。